

일어나 예수 그리스도의 빛을 발하자
立て イエス キリストの光を放とう
(이사야 60:1, 마태 5:16)

全国長老研修会開催

「教会教育と新しい世代」主題に36名参加
総会及び地方会への要望書も採択される

七月二十日から二十一日にかけて、静岡県浜名湖ロイヤルホテルにおいて全国長老研修会が三十六名の出席のもと行われた。

開会礼拝では、金英世長老(長老会会長)が、「この安らかなる者」と題する説教の中で、マッキントッシュ宣教師の引退礼拝に総会と長老会代表として参加したことや、マッキントッシュ宣教師がカナダ帰国後の病苦との闘いの中で総会への熱い思いを伝えるながら神の御国に凱旋されたこと、

七月二十日から二十一日にかけて、静岡県浜名湖ロイヤルホテルにおいて全国長老研修会が三十六名の出席のもと行われた。

告別式に参加したこと等を話した。私たちは、マッキントッシュ宣教師が総会の歴史に足跡を残されたことを感謝してメッセージを聞くことができた。

主語講演は、宮谷宣史牧師(関西学院大学神学部教授)を講師として迎え、「今日の青少年と教会の課題・長老の役割との関連」というテーマで行われた。

バブル経済崩壊後の経済不況や少子高齢化社会へ移行する中で、児童虐待や青少年による事件の多発、青少年の教育環境が悪化して

いる。このような状況下で、長老として個教会において、どのように青少年への信仰継承や教会形成、人材教育を成しうるかということについての具体的な例をあげての講演であった。

夕食後、分団討論に入り、テーマにそって五分団に分れて、熱い討論が交わされた。

二十一日の全体討論においては、最初に分団で討議されたことを分団書記が報告した後、総合討論が繰り広げられた。

全国教役者研修会開催

「새로운 礼拝方案 摸索」이란 題目로 70余名이 参加

二〇〇一年度 全国教役者研修会が総会・宣教・奉仕委員会委員長・黄義生牧師の教育部長・権索(ソク)이라는題目で全国(寧国牧師)主催で、七月三日(水)一泊三日間、大分県別府温泉鬼山ホテルで開かれた。



「새로운 礼拝方案 摸索」이란 題目로 70余名이 参加

八年前、牧会経験が豊富で、昨年、宮崎伝道所を開拓し、牧会を営んでいる鄭永吉牧師が、主語講演として「오늘날 우리 教会들의 礼拝을 돌아보고 生命이躍動하는 教会를 위한 새로운 礼拝方案 摸索」에 대하여

講義し、現象学的으로成長하는教会の特徴を讃嘆し、熱心な礼拝を導く教会の理想、伝統的인 礼拝順序가 아닌 새로운 多様な形態의 礼拝을 導く人教會인 것을 말하며、数十年前の礼拝 스타일을 現在에도 變換없이 使用하고 있는 우리 教会에 比較하면、

近年에 와서 젊은이들이 많이 모이고 成長하고 있는 美国의 代表的인 教会의 例를 들어 紹介하면서、古典的인 形態를 벗어나 生命力이 감도는 礼拝을 위해서 音樂的인 雰囲気의 更新을 強調해 主唱하였다。

分団別府温泉鬼山ホテルで開かれた。

二〇〇一年度 全国教役者研修会が総会・宣教・奉仕委員会委員長・黄義生牧師の教育部長・権索(ソク)이라는題目で全国(寧国牧師)主催で、七月三日(水)一泊三日間、大分県別府温泉鬼山ホテルで開かれた。

八年前、牧会経験が豊富で、昨年、宮崎伝道所を開拓し、牧会を営んでいる鄭永吉牧師が、主語講演として「오늘날 우리 教会들의 礼拝을 돌아보고 生命이躍動하는 教会를 위한 새로운 礼拝方案 摸索」에 대하여

講義し、現象学的으로成長하는教会の特徴を讃嘆し、熱心な礼拝を導く教会の理想、伝統的인 礼拝順序가 아닌 새로운 多様な形態의 礼拝을 導く人教會인 것을 말하며、数十年前の礼拝 스타일을 現在에도 變換없이 使用하고 있는 우리 教会에 比較하면、

近年에 와서 젊은이들이 많이 모이고 成長하고 있는 美国의 代表的인 教会의 例를 들어 紹介하면서、古典的인 形態를 벗어나 生命力이 감도는 礼拝을 위해서 音樂的인 雰

圍氣의 更新을 強調해 主唱하였다。

分団別府温泉鬼山ホテルで開かれた。

二〇〇一年度 全国教役者研修会が総会・宣教・奉仕委員会委員長・黄義生牧師の教育部長・権索(ソク)이라는題目で全国(寧国牧師)主催で、七月三日(水)一泊三日間、大分県別府温泉鬼山ホテルで開かれた。

日基教団과의 宣敎協力委員会가 開催

宣敎協力委員会가 開催

宣敎協力委員会가 開催

宣敎協力委員会가 開催

宣敎協力委員会가 開催

宣敎協力委員会가 開催

宣敎協力委員会가 開催

宣敎協力委員会가 開催

宣敎協力委員会가 開催

宣敎協力委員会가 開催

宣敎協力委員会가 開催

宣敎協力委員会가 開催

召集公告

在日大韓基督教會
第四十六回定期總會

召集公告

召集公告

召集公告

召集公告

召集公告

召集公告

召集公告

訂正

訂正

모세를 찾습니다

—출애굽기 3:1~12—

裴 漢 淑 牧師(한사랑교회)

說 教



모세는 이스라엘 민족을 이집트의 종살이로부터 건져낸 解放의 指導者요, 열들로 갈라진 이스라엘 肢派를 한 하나님 여호와를 섬기는 禮拜共同体로 만든 統一의 指導者였다. 모세가 나타나기까지 온 이스라엘은 하나의 經綸 안에서 苦痛과 부끄럼의 歲月을 견뎌야만 했다. 하나님은 오늘이 땅에 남은 단 하나의 分團國家인 우리 韓民族을 하나님 안에서 하나로 만드시기 위하여 우리 민족의 모세를 찾아 부르시고 계신다. 누가 우리 민족의 모세가 되며 누가 우리 민족으로 하여금 하나님을 禮拜하는 하나의 祖國이 되게 할 것인가?

하나님의 準備하신 모세
첫째, 하나님께서는 죽을 수 밖에 없던 모세를 하나님의 크신 恩惠로 救援해 주심으로 이스라엘 解放과 禮拜共同体의 指導者로 만드셨다. (출 2:11-10)

하나님을 依支한 모세
둘째, 하나님께서는 도망가 있는 모세를 불러 세우심으로 救援과 統一된 禮拜共同体의 指導者가 되게 하셨다. (출 3:1-10)

하나님을 依支한 모세
셋째, 하나님께서는 모세를 40년을 겨우 妻家에 머물며 사는 양치기 로 하게 되었는데, 바로 자신을 依支했기 때문이었다. 자신이 오직 하나님의 恩惠로 「모세」가 되었음을 고백한다.

하나님은 모세를 하나님 의 救援의 痕跡이 뚜렷한 사람으로 만드셨다. 이스라엘의 救援者로 삼으셨다. 이 것이 바로 하나님께서 하시는 일의 順序요, 하나님의 사역을 위한 使命者의 條件이다. 먼저 恩惠를 베푸신 다음에 救援케 하시는 하나님, 하나님의 恩惠를 먼저 받은 이들의 獻身으로 이루어 가는 하나님의 역사. 그러다. 하나님께서 우리 민족의 平和統一을 위하여 準備하신 이들이 누구인지 우리는 分明히 안다. 먼저 救援 받은 하나님의 자녀들, 罪와 죽음의 蔭을 헤치고 우리를 만나 주신 하나님의 恩惠를 먼저 받은 우리들, 바로 예수 그리스도를 믿는 우리가 하나님의 準備

그런 모세를 그 逃亡의 現場으로 찾아가서 불러 세우심으로 다시 使命者로 삼으셨다. 하나님께서 모세를 만나라 마자 네 방에서 신을 벗으라. 고 命하신 것은 더 이상 恩惠와 使命者의 자리에서 숨어 살지 말라는 命令이었다.

우리는 모두 하나님의 救援의 恩惠의 受者요, 민족 救援과 民族統一의 使命者이다. 하지만 한 때 우리는 悔悟아치던 民族統一과 민족 救援의 激情的인 使命感의 噴出이 사라지고 지 금 우리는 어디서 무엇을 하고 있는가? 나 자신의 安全과 내 가족의 작은 幸福을 지키는 미디안에 숨어 살고 있지는 않는가? 행여 다시 그때의 그 激情的인 使命感의 소용돌이 에 휘말릴까 念慮하면서 아직은 나의 때가 아니라 고 스스로 慰勞하면서, 丈人の 양떼나 끌고 하나님 의 산을 오르내리려 하고 있지는 않는가? 우리 는 모두 逃亡의 신을 벗어 들어야 한다. 내 삶을 들어 나만의 計畫 앞에 우리는 完全히 내어놓는 降伏意識이 있어야 한다. 그때에야 비로소 하나님은 우리를 민족 平和統一의 일꾼으로 使用하신다.



2001年 平和統一南北共同祈禱主日 共同祈禱文

宇宙를 創造하시고
人類의 歷史를 救援의 길로 引導하시는 하나님!
지난해 南北 最高의 指導者들을 만나게 하시고
6.15 共同宣言을 통하여 온 민족이 感激 속에 민족의 大和解와 平和統一의 길로 저희를 引導하신 주님께 찬양과 感謝를 드립니다.

最近의 韓半島 周辺政勢는 急激히 變하고 있습니다.
美國 布什行政府의 미사일禦體制 樹立과 半北孤立政策,
日本의 歷史教科書 歪曲과 極右化 傾向은 韓半島의 平和와 統一을 向한 巨大한 歷史의 발걸음에 障礙物이 되고 있습니다.

平和의 主님!
약하고 가난한 이들을 들어 權勢잡은 자들을 부끄럽게 하시는 주님!
武力과 暴力에 의지하여 世界를 分裂하고 支配하려는 惡한 勢力에 屈伏하지 않고 分裂과 不義를, 一致와 正義로 이겨나갈 수 있는 힘과 所望을 저희들에게 주시옵소서.

사랑의 主님!
苦痛받고 疏外당한 이들을 하늘나라 食卓에 招待하시는 주님!
돈과 사치로 自身の 慾望만을 배불리면서 이웃의 아픔을 外面하는 勢力들과 맞서서,
우리가 가진 것을 기꺼이 나누고 더불어 살수 있는 사랑과 믿음을 저희에게 주시옵소서.

正義의 주님!
가난한 사람들의 친구요,
困窮에 빠진 불쌍한 사람들의 防壁이시며 暴風雨를 피할 避難처이시고 匹敵을 막는 그늘이신 주님! (이사야 25:4)
56년째 헤어져 살아온 南과 北 離散家族의 苦痛과 絶望을 기쁨과 所望으로 바꾸어 주옵소서.
가뭄과 災害로 苦痛받는 農民들과 어린이들을 慰勞하시고 돌보아 주옵소서.
歪曲되고 操作된 思想과 理念으로 分團을 固着시키려는 악의 勢力에 굽히지 않고 오직 正義의 편에 서서 우리가 서로 사랑할 수 있는 勇氣와 知慧를 저희에게 주시옵소서.

教會의 머리되신 주님!
원수된 것을 없애기 위해 自己 몸으로 障壁을 허무신 주님! (엡 2:14)
저희를 주님 안에서 새 사람으로 만드시고 南北 教會를 하나되게 하시어 하나님의 救援과 和解의 福音을 宣布하게 하시옵소서.
그리하여 저희가 새千年을 民族和解와 平和統一의 새 時代로 만들어 갈 수 있게 도우시옵소서.

우리를 위하여 十字架에 죽으시고 復活하신 예수 그리스도의 이름으로 祈禱합니다. 아멘.

*이 祈禱文은 韓國基督教教會協議會(KNCC)와 朝鮮그리스도敎連盟 中央委員會(KCF)가 合意하였으며, 2001년 8월 12日 平和統一南北共同祈禱主日에 使用할 共同祈禱文입니다.



韓國食品・書籍・CD・ビデオ

(株) 韓國廣場

新宿店：東京都新宿区大久保1-17-7
TEL (03) 3232-5400
FAX (03) 3200-2949

代表取締役 金根熙

不動産業務全般

免許番号・愛知県知事③第5426番

太栄企業株式会社

代表取締役 金光洙
(名古屋教会 長老)

事務所 名古屋市熱田区川並町2番21号
(名古屋中央卸売市場入口南側太栄ビル)
電話 052(682)1177(代)
自宅 名古屋市千種区御影町2-55-5

株式会社 ニューキング
有限会社 三愛

取締役社長 李鍾善
(名古屋教会 長老)

ニューキング 四日市市野田1丁目965-1
TEL (0593) 31-4771(代)
三愛 岡崎市大和町字荒田14-1
TEL (0564) 31-8893(代)

全協聖書講演キャラバン 全国4地方会で行われる

青年会全国協議会伝道部と各地方青年会共催による聖書講演キャラバンが四月から七月にかけて各地方で行われた。今年度は「LOVE二〇〇一」身近な聖書」というテーマで、聖書をより身近に感じようという趣旨でキャラバンを行った。なぜ聖書を身近に感じようというテーマを設定したかという点、聖書をより身近に感じることによって、辛い時や悲しい時に聖書が心の支えになればと考えたからである。

各地方でそれぞれ講師をお招きし、ペテロがイエスを知らないと言った箇所(ルカ22:54、62)をもとに、聖書を身近に感じる話をしていた。講演を聞いた後、いくつかの小さな

団に分かれ、講演の内容や参加者それぞれが聖書を身近に感じているかといったことについて話し合った。分団では、参加者間の信仰の違いや、聖書の見方の違いがわかり興味深かった。ある地方では話が白熱するあまり時間が経つのを忘れるほどであった。

聖書を身近に感じるといった一つのテーマであっても、講演の内容はそれぞれ違っており、聖書の読み方にも様々なものがあることもわかった。

聖書講演キャラバンを通じて各地方会の青年たちと交流を持てたことは、とても素晴らしいことだったと思う。お互いの信仰観について話したり講演を聴いたりすることによって、様々なことを学び、自分自身を成長させる良い機会になった。今後も聖書講演キャラバン、そして全協のすべての行事に対して祈りのうちに関心を持っていただき、各教会の青年を送り出してくださるようお願いしたい。

●聖書講演キャラバン日程

- 関西地方…四月二二日 京都教会、参加者七名
- 西南地方…五月二十日 福岡中央教会、参加者三名
- 中部地方…六月十日 岐阜教会、参加者十名
- 関東地方…七月十五日 川崎教会、参加者十九名

会場として使われていた各教会、参加してくださった全ての方に感謝したい。(報告…金相勲)

全協研究部研修会開く

「イエスとイエスたち」テーマに

五月二六、二七日、「イエスとイエスたち」というテーマのもと、青年会全国協議会(全協)研究部研修会が、参加者二名で行われた。このテーマは「小さくされた者たちの中にもイエスはいてくださり、私たちはそのことをおぼえて歩みたい」という思いを込めてつけたものである。

二六日午後六時に大阪教会三階に集合し、讃美と祈りの時間を持った後、参加者に前もって準備してもらったマタイ四章二四節から五章十六節の箇所を解釈を発表してもらった。その中で、各青年間の解釈の違いを知ることができた。

その後、講師であるカトリックの本田哲郎司祭より聖書解釈があった。本田司

祭の解釈は青年が考えた解釈と大分異なっていたが、本田司祭の一言ひとこと、自らが釜ヶ崎(大阪の日雇労働者密集地)という現場の中で培った、生きた信仰からくる、重みのあるものであった。その後、交わりの時として青年同士の対話の時間を持った。

二七日、参加者は、釜ヶ崎にあるカトリック「ふるさとの家」で礼拝を捧げた。机の上に小さな十字架があり、本田司祭が壇上からではなく、私たちと同じ位置から話されたこと、話の内容が労働者が本場に必要としていることに触れていたこと、部屋には溢れんばかりの人がいたことなど、「礼拝」への固定概念が砕かれるものだった。

その後のフィールドワークでは、釜ヶ崎の現状を見て回った。説教の言葉が、見学中、頭をめぐった。「私は釜の労働者たちと生活しても、日雇労働者をして

も、同じ位置には立てない」という本田司祭の言葉の意味を実感した。

このプログラムには、若い青年や、これから新しく青年になる高校生も参加していた。教えられるよりも、まずは自分で考える大切さを感じることができたのではないと思う。

(報告…金信志)



総会年金について

年金委員長 朴 米 雄

ご承知のように、総会には年金制度があります。これは、教役者が隠退してから最低限の生活が保障されるように制定されたものです。ところが、現在、教役者に年金に加入させないいくつかの教会があります。その理由は、すでに厚生年金に加入しているの、二重取りになるからだめだという考え方です。しかし、これは事情をよく知らない人々の考え方です。いまや厚生年金では、特に給料の低い勤労者は、厚生年金では生活できなくなっているのです。

日本経済新聞の今年の3月21日付の年金解説では、厚生年金の平均受給額は、月額17万円(総会の教役者の受給額はそれよりもかなり下回ることになる)ということです。これでは、定年後の生活費(賃貸住宅費、食費、光熱費、その他)をまかなうことは不可能でしょう。そこで各企業は「企業年金」を作って、その不足分を補うようにしています。総会の隠退年金は、それに当るものです。厚生年金と隠退年金とを併せて、はじめて安心して生活をする事ができるのです。各教会では、このことを理解されて、全教役者が加入できるように配慮してください。

ところで、厚生年金の今後の運営が危ぶまれているように、総会年金の今後の運営もこのままでは心配な部分があるので、先日、年金委員会が開かれて次の事項を決定しました。それを、10月2日に開かれる常任委員会と10月の総会で承認を経て、11月から実施したいと思いますのでご承知ください。

まず6月30日現在の年金明細表をご覧ください。

(収入)

会員の掛金総額	80,856,391
総会補助(年間200万円)	14,000,000
他団体からの献金	69,474,827
利子累計	105,450,948
合計	269,782,166

(支出)

年金総支給額	26,100,800
現在残高	243,681,366
合計	269,782,166

大事な点から説明します。

- (1) 定額分を30万から18万に引き下げます(これは既に支給されている者も含む)。こういう加入者は損をしたように不満を持つかも知れません。しかし、そうではありません。定額分はもと「おまけ」のような性格のものです。総会年金は3つの柱から成っています。
ア) 比例分: 自分の掛金総額 ÷ 7 (7年間で自分の掛金を全部もらうことになるのです)
イ) 定額分: 一律30万円
ウ) 配偶者加算分: 一律12万円
＜備考＞: ア+イ+ウ=年額(年額 ÷ 12=月額)
だから、定額分と配偶者加算分は、会員の掛金外の基金から、「おまけ」として支給されるものです。したがって、定額分の12万円引き下げは決して損をするという性格のものではないのです。そして、将来、年金がパンクしないために、これを是非、行わなければならないのです。
- (2) 納入をきっちりしてください。現在、半数以上の会員が滞納しています。これは、年金運営に大きな損害を与えているのです。先述の年金明細表のように、会員の掛金総額約8000万円に対して、利子総額は、1億5000万円に達しているのです。今は、ゼロ金利時代ですが、1990年代は6%~8%の利子がついたからです(そして、今後、利子は上昇するようになるでしょう)。だから、自分の掛金が利子を生んで年金運営に貢献し、それが自分の年金にプラスになって帰ってくるのです。だから、遅れて納入するのは、その利子分を盗んでいることになるのです。年金委員会では、今後、遅れて納入する会員には延滞金を課し、そのような状態が長く続いた場合には、退会をしてもらうことも予定しています。どうか毎月きっちり、複数月納入する場合には必ず頭の月に納入してください。
- (3) 今まで受給資格が20年でしたが、今後は他の年金に足並をそろえて25年とします。従って45歳以上の入会はできません。そして、教役者になって1年以内に入会してください。利子の項で説明したように、入会しない間は、年金運営に損害を与えることになるので、1年以後は入会を認めません。ただし、特別な事情がある場合は、特例として5年の猶予をおきますが、年5%の加算金を徴収します。
- (4) 受給資格が20年から25年となりましたので、途中解約の一時金が次のようになります。
ア) 10年未満(掛金総額の2分の1) → 15年未満
イ) 10年~20年未満(掛金総額) → 15年~25年未満
以上、説明した個所以外は、すでに施行されている年金規定通りです。これが次の常任委員会と総会で承認された場合、11月から実施されることになります。どうか、各教会も教役者も将来の安定した隠退年金制度にご協力ください。

関東地方会創立50周年

信徒修練会

日時: 2001年8月29日~31日

場所: 鹿教湯温泉

ホテル東急

主題: 21世紀、新しい時代にふさわしい信徒像

講師: 林澤鎮牧師

参加費: 20,000円

《外国人住民基本法の制定を求める全国キャンペーン・2001》

- 9月28日(金) 18:30~20:30 ● 札幌
◇ 講演: 李相勲さん <会場> 北海道クリスチャンセンター
- 9月28日(金) 18:30~21:00 ● 広島
◇ 講演: 新谷のり子さん ◇ 証言: 李相勲さん
<会場> 日本バプテスト連盟広島基督教教会
- 9月29日(土) 15:00~17:00 ● 北九州
◇ 講演: 新谷のり子さん ◇ 証言: 李相勲さん
<会場> 西南KCC
- 10月14日(日) 15:00~17:00 ● 東京
◇ 礼拝 ◇ バイオリン演奏と証し: 丁謙宇さん(伴奏: 崔善愛さん)
<会場> 在日大韓基督教会東京教会
- 10月28日(日) 13:00~16:30 ● 大阪
◇ 特設舞台での歌・踊り、各国料理の屋台 <会場> 越中公園
● 11月9日(金)~11日(日) ● 神奈川 ◇ 展示会: 在日の足跡
<会場> 日本基督教団清水ヶ丘教会
- 外登法問題と取り組む全国キリスト教連絡協議会(外キ協)

総幹事活動日誌

7月

● 会議
○ 教役者研修会
日時: 7月3日、5日
場所: 別府・鬼山温泉

● 講義
○ 鄭永吉牧師
題目: 新しい礼拝の模索
日時: 7月12日
場所: AVACO理事会

● 説教
○ NCC常議員会
日時: 7月12日
場所: AVACO会議室

● 集会
○ 南北首脳会談1周年記念
日時: 7月18日
場所: 中央大学講堂

○ 日基との宣教協力実務者
日時: 7月18日
場所: 中央大学講堂

日時: 7月19日
場所: 鶴見教会
参加者: 金性済、韓聖炫、李相勲、鄭有盛、姜榮一

○ 日暮里教会関係
日時: 7月17日
荒信金庫担当者・不動産社長との協議

● 説教
○ 権泰雄牧師査証件
日時: 7月2日
法務省に再審

● 説教
○ 東京中央教会
日時: 1、8、15、22日

● 総会事務所夏期休暇のお知らせ
八月十三日(月)から十七日(金)まで、夏期休暇のため総会事務所をお休みいたします。